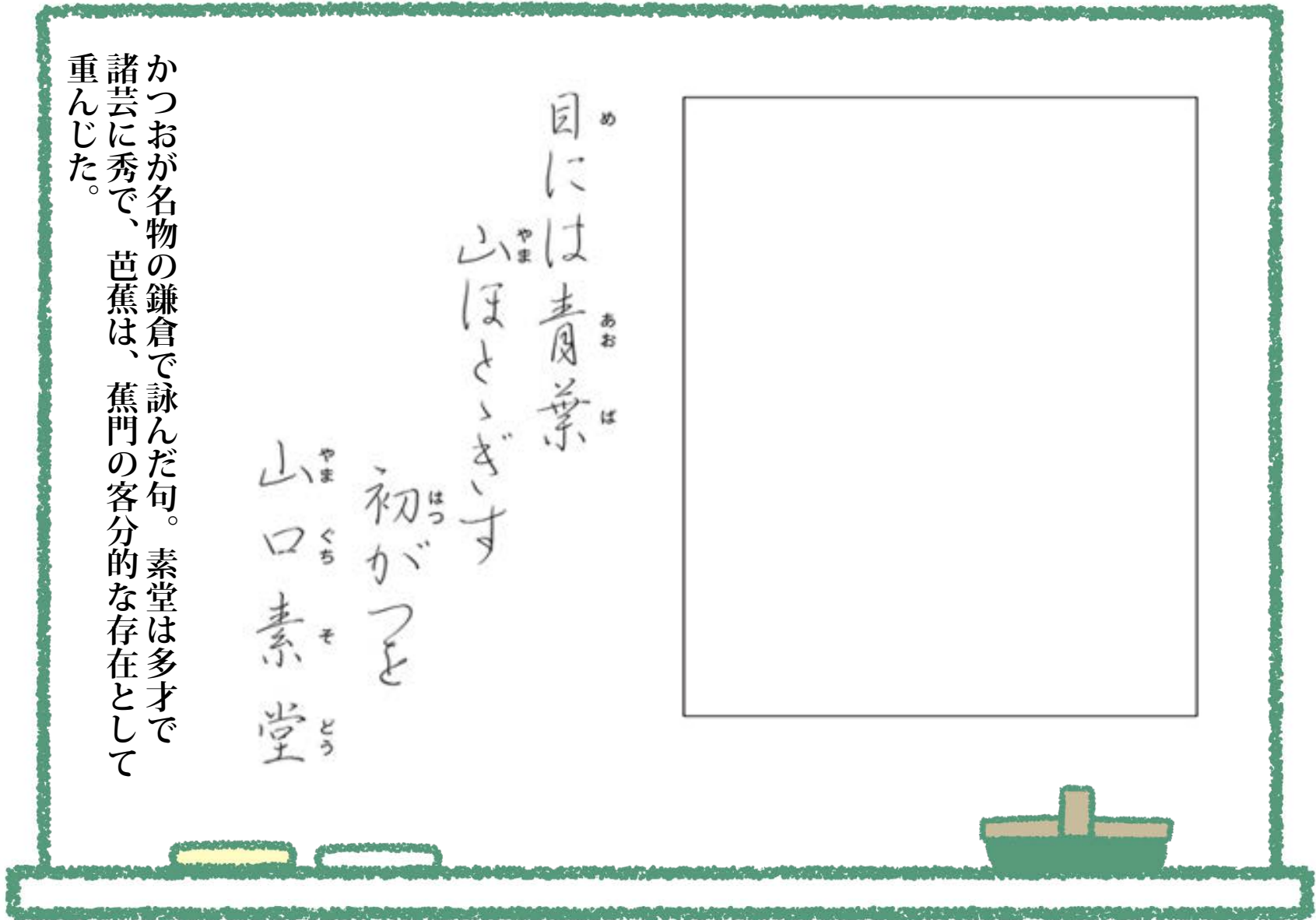


(問題2) 俳句の書き取り

脳の前頭前野を鍛えるには、いわゆる「読み書き計算」を毎日短時間、継続して行なうことが大切です。特に手を使って書くことで脳はより活性化します。

下にある俳句を、現代語訳を読み情景を思い浮かべてから、紙に書き写しましょう。



かつおが名物の鎌倉で詠んだ句。素堂は多才で諸芸に秀で、芭蕉は、蕉門の客分的な存在として重んじた。

目には青葉
山ほととぎす

初がと
山口素堂



※個人でお楽しみいただく範囲でプリントアウトが可能です。

(C) 小学館集英社プロダクション

本ページの全部または一部を非営利目的かつ個人的な使用の範囲を超えて無断で複製・複写（個人的な使用の範囲を超えた数量の複製・複写を含む）、転載、転用、頒布、改変・加工等することは、著作権法上の私的利用等の例外を除き、禁止いたします。